

会記

著者	植物地理・分類学会
著者別表示	The Society for the Study of Phytogeography and Taxonomy,
雑誌名	植物地理・分類研究
巻	57
号	1
ページ	51
発行年	2009-10-30
URL	http://hdl.handle.net/2297/00053414



会 記

2008 年度会計報告 (2008 年 4 月 1 日～2009 年 3 月 31 日)

○植物地理・分類学会

収入 (A)	4,799,628円	支出 (B)	2,303,805円
会費	2,665,689	雑誌印刷費	1,428,000
バックナンバー	2,000	(56-1, 56-2)	
書籍売上	4,000	雑誌送料	77,100
別刷代金	212,300	通信費	13,610
超過ページ組賃	6,000	英文校閲	50,000
カラー図版代金	40,000	会計事務	156,000
利息	907	庶務事務	101,530 (内訳)
雑収入 (論文抄録等)	2,980	雑誌等発送アルバイト	35,000
総会参加費等	32,000	文具等	6,680
前年度繰越金	1,833,752	封筒等	59,850
		事務用パソコン一式	202,750
		ニュースレター送料	89,120
		会議旅費	54,215
		学会運営費	68,000
		雑支出	4,180
		総会関係	59,300 (内訳)
		運営費	25,300
		会場費	0
		旅費	5,000
		立替金	29,000

差引 (A-B) 2,495,823 円 (次年度への繰越金)

○植物地理・分類学会後援会

収入 (A)	714,913円	支出 (B)	90,118円
醸金 (1 件)	50,000	審査会議費	17,000
受取立替金 (本会から)	29,000	授賞金	50,000
前年度繰越金	635,913	受賞者旅費・宿泊費等	23,000
		大会用消耗品	118

差引 (A-B) 624,795 円 (次年度への繰越金)

新入会員 (2009 年 3 月～2009 年 9 月)

1 月 15 日	瀬口三樹弘	〒870-0173	大分市公園通り 4 丁目 17-5
1 月 20 日	小川 滋之	〒361-0012	行田市下須戸 1296-3
1 月 20 日	瀬戸口浩彰	〒606-8501	京都市左京区吉田二本松町 京都大学大学院人間・環境学研究所
3 月 17 日	津坂真智子	〒453-0813	名古屋市市中村区二ツ橋町 3-6
4 月 1 日	末次 健司	〒630-8105	奈良市佐保台二丁目 1657-114
	藤本 誠	〒398-0001	大町市平 23010-10
4 月 6 日	加藤 雅啓	〒305-0005	つくば市天久保 4-1-1 国立科学博物館植物研究部
	片桐 丘充	〒940-2035	長岡市関原町 2-288-1
4 月 20 日	一野 香織	〒874-0828	別府市山の手町 8-44-101

5 月 30 日 永田 芳男 〒475-0828 半田市瑞穂町 2-3-7-703
 8 月 7 日 前田 芳之 〒894-1531 鹿児島県大島郡瀬戸内町手安 108

退会会員 (2009 年 3 月～2009 年 9 月)

島田 博匡 〒515-2612 津市白山町古市 628-189
 友成 孟宏 〒771-1350 徳島県板野郡上板町瀬部 1147-1
 津田 智 〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学附属流域圏環境研究センター
 中井 秀樹 〒001-0013 札幌市北区北 13 条西 3 丁目 8-1 サンシティ北大前 802
 長岡 総子 〒191-0034 日野市落川 807-2
 中川 定一 〒935-0004 氷見市北大町 13-47
 野坂 志朗 〒069-0853 江別市大麻高町 6-14
 森 俊 〒981-1505 角田市角田字中島下 258
 大井 信夫 〒611-0002 宇治市木幡南山畑 28-28
 橘 康夫 〒871-0201 大分県下毛郡本耶馬溪町樋田
 高田 順 〒010-0972 秋田市八橋田五郎 2-6-36
 小林 元男 〒442-0854 豊川市国府町岡本 43-33
 横山 俊一 〒911-0048 勝山市荒土町別所 5-10
 吉光見雅代 〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学大学院自然科学研究科 薬学部附属薬用植物園
 河合 功 〒921-8131 金沢市三十蒔町 6-6 (死去)
 東 衛史 〒779-1105 徳島県阿南市羽ノ浦町 古庄古野神 13-36
 船津 金松 〒123-0872 東京都足立区江北 3-27-3
 独立行政法人 森林総合研究所関西支所 〒612-0855 京都市伏見区桃山町永井久太郎 68
 人間環境大学附属図書館 〒444-3505 岡崎市本宿町上三本松 6-2
 山口 明夫 〒630-8434 奈良市山町 94
 南 正祝 〒518-1155 伊賀市治田 5216-1
 大槻 眞一 〒152-0003 東京都目黒区碑文谷 5-15-6-401
 藤本 義昭 〒654-0121 神戸市須磨区妙法寺字岩山 1054-3 (死去)
 此松 昌彦 〒640-8510 和歌山市栄谷 930 和歌山大学教育学部 地学教室
 大田 修平 〒305-0821 つくば市春日 3 丁目 10-17 高野荘 1-1

住所・氏名変更及び訂正 (2009 年 3 月～2009 年 9 月)

光用 直子 〒003-0027 札幌市白石区本通 9 丁目北 4-41 サンエイビル 201 有限会社エコシステム →
 保田 直子 〒062-0045 札幌市豊平区羊ヶ丘 1-2-203
 浜田 展也 〒727-0021 庄原市三日市町 515 広島県立庄原格致高等学校 → 〒722-0043 尾道市東久
 保町 12 番 1 号 広島県立尾道東高等学校
 実吉智香子 〒065-0017 札幌市東区北 17 条東 1 丁目 1-10 ノースタウン 17 402 号室 → 〒098-2943
 天塩郡幌延町字間寒別 131 北大宿舎 2
 大野 尚子 〒921-8131 金沢市三十蒔町丙 109-2 → 村上 尚子 〒920-0344 金沢市畝田東 2 丁目
 616 クオーレ 102 号
 野田 浩 〒183-8509 府中市幸町 3-5-8 東京農工大学大学院連合農学研究科 植生管理学研究室 →
 〒523-0032 近江八幡市白鳥町 38-1 シャトレー白鳥 102 号
 佐藤 杏子 〒930-0194 富山市杉谷 2630 富山大学 和漢医薬学総合研究所 資源開発研究部門 生薬資
 源化学分野 → 山崎 (佐藤) 杏子 〒936-8507 滑川市加島町 45 富山県立滑川高等学校
 山田 浩雄 〒709-4335 勝田郡勝央町植月中 1043 森林総合研究所 林木育種センター関西育種場 →
 〒861-1102 合志市須屋 2320-5 森林総合研究所 林木育種センター九州育種場
 谷 友和 〒321-1435 日光市花石町 1842 東京大学理学系研究科附属植物園日光分園 → 〒943-
 8521 上越市屋敷町 1 上越教育大学自然系理科

- 助野実樹郎 〒060-0810 北海道大学大学院 環境科学院生物圏科学専攻 → 〒060-0810 札幌市北区
10条西5丁目 北海道大学大学院 環境科学院環境起学専攻
- 鈴木 伸一 〒220-0073 横浜市西区岡野 2-12-20 横浜西合同庁舎 3階 (財)地球環境戦略研究機関国際
生態学センター → 〒156-8502 世田谷区桜丘 1-1-1 東京農業大学短期大学部環境緑地学
科 緑地生態学研究室
- 金子 岳夫 〒941-0052 糸魚川市南押上 1-15-1 糸魚川地域振興局農林振興部 → 〒440-0831 豊橋
市西岩田 6-11-1-A 24
- 門田 康孝 〒462-0006 名古屋市北区若鶴町 152 (株)環境科学研究所 生態系研究室 → 〒389-0206
長野県北佐久郡御代田町大字御代田 4106 番地 360 コテージ・一の沢 A 号室
- 田村 実 〒576-0004 大阪市交野区私市 2000 大阪市立大学大学院理学研究科附属植物園 → 〒606-
8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学大学院理学研究科 生物科学専攻植物学教室

2008年度 植物地理・分類研究の寄贈先及び交換先

寄贈

種生物学会

地衣類研究会

植物分類学会

日本蘚苔類学会

Botanischer Garten (Germany)

Section of Botany, Carnegie Museum of Natural History (U.S.A.)

Royal Botanic Gardens (U.K.)

交換

国立科学博物館筑波実験植物園

Bulletin of the National Science Museum Series B (Botany)

津村研究所

植物研究雑誌

中国科学院植物研究所 (中国)

Journal of Systematics and Evolution (旧 Acta Phytotaxonomica Sinica)

Biologiezentrum Landesmuseum (Austria)

Stapfia

Conservatoire et Jardin Botaniques (Switzerland)

Candollea

Institute of Botany, Academia Sinica (Republic of China)

Botanical Studies

Missouri Botanical Garden (U.S.A.)

Annals of the Missouri Botanical Garden

National Herbarium of the Netherlands Leiden University Branch (The Netherlands)

Blumea

Royal Botanical Garden Edinburgh (U.K.)

Edinburgh Journal of Botany

The Plant Taxonomic Society of Korea (Korea)

Korean Journal of Plant Taxonomy

植物地理・分類学会 2009 年度大会

植物地理・分類学会 2009 年度大会は 5 月 30 日(土)、富山市科学博物館(富山県富山市西中野町)で行われた。大会開催には富山市科学博物館の根来館長、太田学芸員ほか博物館の方々にお世話になりました。記して感謝いたします。

総会は午後 1 時から開始され、加藤雅啓氏を議長に選出した。はじめに 2008 年度の報告が行われた。庶務幹事から 2008 年 4 月 1 日から 2009 年 3 月 31 日までの活動報告が行われ、会誌の発行状況、幹事会・評議員会での審議内容等が報告された。会計幹事により 2008 年 4 月 1 日から 2009 年 3 月 31 日までの会計報告が行われた。監査の本多郁夫氏によって会計報告に誤りがないとの報告が行われ、質疑を行ったあと活動報告・会計報告は拍手で承認された。引き続いて議事は協議事項に移り、庶務幹事と会計幹事から 2008 年 4 月 1 日から 2009 年 3 月 31 日までの活動計画と予算案が説明された。質疑の後それぞれ賛成多数で承認された。執行部からの協議項目は以上であった。

その後、会員から、「本学会では次期会長等の執行部を今期の総会で承認すること」が慣例であったにもかかわらず、現執行部は次期役員の選出を未決定のまま総会に臨み、しかも未決定の状態を会員の質問があるまで総会で公にしなかったことは、現執行部の不手際である、との指摘があった。このままの状態では、会則上、現執行部は来年 3 月末で任を離れることになり、4 月から総会まで執行部不在という異常事態となって、円滑な会務が実施されないことが予想される。そのため、総会において以下の議決が行われた。

議決内容：評議員会は執行部が会務を問題なく遂行することを確認し助言する責任があること(会則 13 条)を踏まえ、今回の件について評議員会を開き、次期会長等の執行部選出等、解決策を今年度中に決めることとする。学会は、次期会長・幹事の執行部陣について、評議員会の選出決定に一任する。

午後 2 時から「植物地理・分類学会賞」の授賞式が行われた。植田会長が学会賞審査委員会の審査報告を読みあげ、賞状と副賞が受賞者の細井幸兵衛氏に手渡された。授賞式に引き続いて細井氏によって「本州北端の植物」と題した受賞講演が行われた。

午後 3 時から高橋英樹氏(北海道大学・総合博物館)による招待講演「北海道産アツモリソウ属植物の分類と保全」が行われた。



細井幸兵衛氏(受賞講演)



高橋英樹氏(招待講演)

午後 3 時から一般講演が行われ、定刻にすべて終了した。

1. 須山知香(金沢大・院・自然科学)・植田邦彦(金沢大・自然システム・植物自然史)：東アジアにおけるエゾマツシソウ節植物の分布
2. 三浦憲人(富山大・院・理工)・岩坪美兼(富山大・理)：ラショウモンカズラの染色体
3. 早勢奈央(富山大・理)・畠知恵美(富山大・理)・大野美波(富山大・院・理工)・三浦憲人(富山大・院・理工)・佐藤杏子(滑川高)・岩坪美兼(富山大・理)：ギボウシ属 4 種とジャノヒゲの染色体
4. 植田邦彦(金沢大・自然システム・植物自然史)・須山知香(金沢大・院・自然科学)・吉田 豊(豊橋ボタニスト倶楽部)・上野勝典(豊橋ボタニスト倶楽部)・上野由貴枝(豊橋ボタニスト倶楽部)・伊藤 祝(豊橋ボタニスト倶楽部)：トヨボタニソバの分布と生育環境
5. 野上達也(白山自然保護センター)：白山の室堂と南龍ヶ馬場に侵入したオオバコの個体数と個体サイズの年次変化

懇親会は午後6時から独乙屋倶楽部で、和やかに行われた。各自思い思いに歓談して午後8時に散会した。

植物地理・分類学会 2009 エクスカーション



今回のエクスカーションは、5月31日(日)富山市笹津舟倉用水沿い(富山市直坂~牛ヶ増地内)で行われた。舟倉用水は、神通川第2ダム右岸の急斜面中腹に古くから設けられている用水路で、集塊岩の土壌からなるため、石川県ではあまり見られない植物も観察できるということであった。

あいにくの雨模様で出だしはよくなかったが、大降りにもならず、植物を大いに楽しむことができた。午前9時40分、集合場所の猿倉山駐車場から、右手に竹林を見ながら用水路沿いを奥へと歩いていった。さっそく観察路沿いにタツナミソウが現れ、これはなにかということで話がまとまり、ヤマジノタツナミソウに落ち着いた。用水路は、最初のうちは浅く水も流れていなかったため、観察者の何人かは、用水路の中を歩いていた。しかし、どんどんいくうち用水路が深くなり、このままでは、観察路上に上がれなくなりそうだったので、うまくあがれそうところを見つけ、這い上がった。用水路側の壁にヤマホタルブクロの白花が可憐に咲いていた。ここには、オオミヤマガマズミとガマズミが混生するという話をきいていたので、楽しみにしていたが、あった！オオミヤマガマズミ。ミヤマガマズミとは違って葉に毛があり、形も三角ぼくはなく、どちらかというとなガマズミに似ていたが、…。まだ、自分で同定することは、難しそう。

用水路が深くなり、あたりは薄暗く湿っぽい。クロバナヒキオコシ、オオバギボウシ、オオアキギリ、マムシグサ、コジュズスゲ、ジュズスゲ、リョウメンシダ、ヤマイタチシダ、ナンゴクナライシダ等が見られた。木本ではウラゲエンコウカエデ、特に多いのがダンコウバイ。

また、しばらく行くと岩でゴツゴツした壁があり、右側は崖。しかし、そこには、ヒモカズラ、イワレンゲが！見とれて、落ちませんように。

どんどん行く。シモツケ、ベンケイソウ、カワラマツバ。アイアスカイノデ、ホクリクイノデ、ドウリョウイノデ。他にもイワデンダ、クマワラビ、イブキジャコウソウ。途中、カモシカがあらわれた。アイアスカイノデとツヤナシイノデの雑種と思われるオンガタイノデ?の議論も始まった。皆さんとても意欲的に植物を見ているのには、感心させられるばかりである。

そうこうするうちに、漕艇場の見える辺りまで来た。広く下のほうまで見渡せるいい景色である。対岸には、エッチュウミセバヤがあるという話も聞くことができ、さらに感動も深まった。ここで、Uターンして、もと来た道に戻る。

同じ道だから、足早に進むのかと思いきや、行きで見逃した植物がわんさか出てきた。スギの葉をねじって楽しむことも教えてもらい、大満足で12時35分駐車場に到着した。記念撮影をして、あっという間の半日であった。お世話していただいたみなさんに深く感謝いたします。

(石川県白山自然保護センター 吉本敦子)

2009 年度植物地理・分類学会賞の審査結果について

2009 年植物地理・分類学会賞の受賞者は、審査委員会による厳正な審査の結果、下記のように決定いたしました。

植物地理・分類学会賞

受賞者 細井幸兵衛

推薦者 上野雄規

細井幸兵衛氏は青森県青森市のご出身で、1949 年に青森県立青森商業高等学校卒業と同時に農林省林業試験場青森支場に就職された。そこで村井三郎氏の指導を受け植物の研究を開始され、1960 年に青森営林局へ移動された。1974 年に営林局を退職された後、造園業を営みながら植物の研究を続けられた。

細井氏は、林業試験場および青森営林局に勤務された時、青森県、岩手県、宮城県の青森営林局管内における林木育種、森林植生・材木収穫および森林土壌の調査に携わられた。それらの成果の一部は、「北陸の植物」、「青森林友」、「日本林学会誌」等に発表されている。

青森営林局を退職された後、細井氏は青森県内のスゲ属、カエデ属、ニワトコ属などの再検討を行い、「青森県生物学会誌」に発表された。また、北海道をはじめ青森県に隣接する地域で植物の現地調査を繰り返し、地域フロアの解明に努められ、「青森県生物学会誌」や「東北植物研究」などに発表されている。それらの集大成として、「青森県野生植物目録」(1994)が出版された。これは標本と調査記録に基づいてまとめられたもので、この地域のフロアを明らかにしたものとして高く評価できる。その後も研究成果を、「プランタ」や「東北植物研究」に発表されるとともに、インターネットのホームページで青森県植物図譜(岩淵・神と共著)を公表されている。これは、青森県ゆかりの植物や貴重な種について、研究史と独自の観察記録を基にした解説、一般的な記述、ボタニカルアートの三部から構成されているもので、地域植物研究に新たな方法を提案したものである。

細井氏は、環境省および青森県のレッドデータブック作成に向けた調査に協力された。特に、青森県版の改訂に当たっては、青森県生物多様性保全対策検討委員会会長として、その中心的な役割を果たされた。また、青森県史編集委員、青森県外来種対策学術調査検討委員などを、歴任されている。そして、氏は自らの研究成果をもとに、野生植物の現状把握と絶滅危惧植物の保全を中心とした青森県の自然・環境行政に多くの提言をされている。

以上のように、細井幸兵衛氏の業績は、植物地理学および植物分類学の分野において学術的見地並びに社会貢献の見地から、まことに顕著であり、細井氏は、植物地理・分類学会賞を授賞するにふさわしい方である、と審査委員会は全員一致で決定した。

細井氏には、「青森県植物誌」の編集を期待すると同時に、当学会においても活躍されることを願ってやまない。

2009 年 2 月 28 日

植物地理・分類学会賞審査委員会

植物地理・分類学会賞応募要領

植物地理学と植物分類学の振興と育成のために、植物地理・分類学会に次の2つの学会賞を設ける。

植物地理・分類学会賞

応募資格

受賞の年度までに5年以上植物地理・分類学会員であること

受賞の対象となる業績内容の例：

- ・地域植物相の解明に貢献
- ・モノグラフの研究に貢献
- ・分類群の系統解明に貢献
- ・地域の植物研究グループの中心的としての教育的な貢献

応募方法

自薦または他薦による候補者の推薦

提出書類

- (1) 履歴書（研究歴を明瞭に記載したもの）1部、あるいはこれまでの研究歴についてかかれた書類1部（学校、研究所、博物館等に所属していない人に限る）
- (2) 業績リスト1部
- (3) 主要論文の別刷りをそれぞれ3部、著書があれば1部
- (4) 推薦理由書
- (5) 業績内容を照会できる人（1名）の連絡先を記した書類

応募期限（2011年度）

2010年10月31日

応募先（必ず書留便で郵送してください）

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学環日本海域環境研究センター植物園
植物地理・分類学会 庶務幹事 木下栄一郎

植物地理・分類学会奨励賞

応募資格

- ・優れた萌芽的研究を行い、今後の発展が期待できる植物地理・分類学会員
- ・ファーストオーサーとして植物地理・分類研究に論文を発表している者
- ・応募時に満35歳未満の者

応募方法

自薦または他薦による候補者の推薦

提出書類

- (1) 履歴書（研究歴を明瞭に記載したもの）1部
- (2) 業績リスト1部
- (3) 主要論文の別刷りをそれぞれ3部、著書があれば1部
- (4) 推薦理由書
- (5) 業績内容を照会できる人（1名）の連絡先を記した書類

応募期限（2011年度）

2010年10月31日

応募先（必ず書留便で郵送してください）

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学環日本海域環境研究センター植物園
植物地理・分類学会 庶務幹事 木下栄一郎

引用許可申請書について

本雑誌に掲載された図や写真等を他の印刷物で引用（使用）を希望する場合は、以下の「引用許可申請書」を作成し、学会の庶務幹事宛（〒920-1192 金沢市角間 金沢大学自然計測応用研究センター附属植物園 植物地理・分類学会 庶務幹事 木下栄一郎）に郵送して、許可を得てください。用紙は A4 を使用し、（ ）内を参考に詳しく書いてください。

引用許可申請書

植物地理・分類学会 会長殿

年 月 日

貴学会発行の「植物地理・分類研究」に掲載の図表等を引用したく、その許可をお願いいたします。

申請者の住所

氏名 印

1) 使用する「植物地理・分類研究」の巻、頁、著者名、題目、図表の番号

2) 著者の許可の有無

（著者の許可が必要です。許可を得ていない場合は、その理由を記してください。

例：連絡が見つからない、著者死亡等）

3) 使用先の出版物等の内容

（雑誌、本、パンフレット等を使用する場合は、発行元、発行予定数、有料・無料の別等を書いてください。）

植物地理・分類学会 会則

- 第1条 本会は、植物地理・分類学会と称する。
- 第2条 本会は、植物系統分類学、植物地理学、植物生態学および植物自然史関連分野の進歩普及を図り、あわせて会員相互の連絡および親睦を図ることを目的とする。
- 第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 研究会、講演会、シンポジウム、観察会等を開催する。
 2. 会誌その他の出版物を刊行する。会誌「植物地理・分類研究」は原則として年2回発行する。
 3. 植物系統分類学、植物地理学、植物生態学および植物自然史関連分野に関係した調査、研究の業績、または教育的な貢献が著しい会員を表彰する。
- 第4条 本会の事業年度は4月1日に始まり3月31日に終わる。
- 第5条 会員は普通会員、学生会員、団体会員、賛助会員および特別会員とする。
1. 普通会員、学生会員、団体会員および賛助会員は、本会の趣旨に賛同し、それぞれ所定の会費を納める個人または団体。
 2. 特別会員は、本会の発展に著しい功績のあった個人で、幹事会の議を経て会長が推薦し総会の承認を受けた者。特別会員は会費の納入を要しない。
- 第6条 普通会員、学生会員、団体会員および賛助会員は、会費を前納（前年度の3月末日まで）しなければならない。なお、納入された会費は返付しない。
- 第7条 会員は、会誌の配布を受け、あわせて会誌に投稿すること、ニュースレターの配布を受けること、本会主催の諸会合に出席することができる。
- 第8条 新しく会員になろうとするものは、当年度の会費を添えて本会事務局に申し込むこと。退会する場合は本会事務局に届け出なければならない。会費に滞納があるときは、未納分を納めなければならない。
- 第9条 会員が次の各項に該当するときは、幹事会の議決を経て次の措置をとることができる。
1. 本会の名誉を著しく傷つけ、または本会の目的に反する行為のあったときは、除名する。
 2. 会費を2年間滞納したときは、除籍する。
- 第10条 本会の最高決定機関として総会を置く。総会は毎年1回開催する。総会での議決は出席者の過半数の賛成を以て行う。ただし会則の改正には出席者の2/3以上の賛成を要する。
- 第11条 本会に幹事会を置く。幹事会は本会の運営を行う。幹事は会長、庶務幹事、会計幹事、編集委員長各1名、およびその他若干名とし、総会において選出する。これらの役員の任期は2年とする。
- 第12条 本会に編集委員会を置く。編集委員会は編集委員長、主任編集委員および編集委員で構成し、編集委員長がこれを代表する。主任編集委員1名、編集委員は若干名とし、編集委員長が幹事会にはかって委嘱する。委員の任期は2年とする。
- 第13条 本会に評議員会を置く。評議員会は会長の諮問に応じ、会務の重要事項を審議する。評議員会は総会において選出された評議員若干名で構成し、任期は2年とする。
- 第14条 本会に監査員を2名置く。任期は2年とし、総会において選出する。
- 付則 1. この規約は1990年6月2日から施行する。
- 付則 2. 第12条の規定に関わらず会長は編集委員長を兼ねることができる。
- 付則 3. この規約は2001年6月2日から施行する。
- 付則 4. この規約は2002年6月1日から施行する。
- 付則 5. この規約は2005年6月4日から施行する。ただし2005年度は、第4条の規定に関わらず事業年度は2005年1月1日から2006年3月31日とする。

植物地理・分類学会「入会案内」

入会方法

- 1) 本学会に入会を希望される方は、本学会ホームページ*の入会案内、または下の入会申込書（コピーでも可）、に情報を記入のうえお送りください。なお、学生の場合は、学生であることを証明するもの（写し可）、または指導教員の証明書を入会申込書に添えてください。

* <http://magnolia.s.kanazawa-u.ac.jp/phytogeographyandtaxonomy.html>

郵送先：

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学大学院自然科学研究科植物自然史研究室内

植物地理・分類学会

TEL / FAX 076-264-6208

- 2) 同時または数日以内に、年会費（一般会員は 4,000 円、団体会員は 6,000 円、学生会員は 1,000 円）を、郵便振替口座 00760-0-904 番、植物地理・分類学会宛に振り込んでください。

..... 切り取り線

年 月 日

ふりがな	英語表記：		
氏 名	生年月日	年	月 日
所 属： 同上住所：〒 TEL： FAX： E-MAIL：			
自宅住所：〒 TEL： FAX： E-MAIL：			
入会希望年度：		年	
会誌送付先（どちらかに○）		勤務先	自宅
「現在取り組んでいる研究課題，興味のある分類群・地域」について： （キーワードで 5 語以内でお願いします）			